



記者発表資料



令和7年10月27日
市民局生活文化スポーツ部
スポーツ振興課
電話 245-5965

「第7回世界女子ソフトボール選手権大会開催記念大会 宇津木妙子杯」を開催します ～女子ソフトボール元日本代表監督の宇津木妙子氏を迎えて技術講習会も開催～

千葉市では、2018年8月にZOZOマリンスタジアムを決勝会場にして行われた第16回世界女子ソフトボール選手権大会の開催を記念し、今年も県内中学校ソフトボール部の交流大会として、「第7回世界女子ソフトボール選手権大会開催記念大会 宇津木妙子杯」を開催しますので、お知らせします。

また、大会当日は、女子ソフトボール元日本代表監督の宇津木 妙子氏を講師に迎えた技術講習会も実施しますので、併せてお知らせします。

1 趣旨

本大会は、2018年8月にZOZOマリンスタジアムを決勝会場にして行われた第16回世界女子ソフトボール選手権大会の開催を記念し、今後も中学生に夢を持ってソフトボールに取り組んでもらうきっかけになることを目的に開催しています。2019年から毎年開催しており、今年で7回目の開催となります。

外野フェンス・公認審判員・公式記録員・放送員をつけることにより、全国大会レベルの環境を整えています。

2 日程

令和7年11月3日（月・祝）9：00～16：00

9：00 開会式

9：30 宇津木氏による技術講習会

11：00 中学生6チームによるリーグ戦

3 場所

磯辺スポーツセンター グラウンド（美浜区磯辺1-50-1）

※雨天時は磯辺スポーツセンター体育館で技術講習会のみ実施します。

4 参加校（11校、6チーム）

千葉支部 千葉市立中学校 7校 3チーム

他支部 県内中学校 4校 3チーム

<千葉支部>

①蘇我中学校

②椿森中学校・天戸中学校・幸町第二中学校（合同）

③千城台西中学校・幕張西中学校・みつわ台中学校（合同）

<他支部>

①旭市立海上中学校

②大網白里市立大網中学校

③習志野市立第七中学校・習志野市立第三中学校（合同）

5 主催・共催

主催 千葉県ソフトボール協会

共催 公益財団法人千葉市スポーツ協会、千葉市

6 取材について

取材を希望される場合は10月31日（金）正午までに、スポーツ振興課（電話245-5965）へご連絡ください。

<参考>

1 宇津木 妙子（うつぎ たえこ）氏プロフィール

1953年4月6日生まれ。

埼玉県川島町立川島中学校1年時からソフトボールを始める。高校卒業後、日本ソフトボールリーグ女子1部のユニチカ垂井に所属し、1974年世界選手権大会出場。

1985年に現役引退後、ジュニア日本代表コーチを経てソフトボールリーグの日立高崎の監督に就任、全日本総合選手権5回優勝、日本リーグ3回優勝。



宇津木 妙子 氏

○経歴

1997年12月 日本代表監督に就任

1998年 7月 世界選手権大会で銅メダル獲得

2000年 8月 シドニーオリンピックで銀メダル獲得。彩の国功労賞受賞

2004年 8月 アテネオリンピックで銅メダル獲得

9月 日本代表監督退任

2005年 国際ソフトボール連盟殿堂入り（日本人初）

2010年 4月 東京国際大学の特命教授および同大学の女子ソフトボール部の総監督に就任。また、ルネサス高崎（現ビックカメラ女子ソフトボール高崎）シニアアドバイザーに就任

2011年 6月 特定非営利活動法人ソフトボール・ドリームを設立し、理事長に就任

2014年 5月 世界野球ソフトボール連盟理事に就任

6月 公益財団法人日本ソフトボール協会副会長に就任

2020年 9月 一般社団法人日本女子ソフトボールリーグ機構副会長に就任

2024年12月 旭日小綬章受章

2 第16回世界女子ソフトボール選手権大会について

予選を勝ち抜いた世界16の国と地域の代表チームが集結し、女子ソフトボール競技の世界一を争うもので、東京2020大会の出場国を決める予選も兼ねた大会として注目された。

千葉市ではZOZOマリンスタジアムを会場に2018年8月10日～12日に決勝トーナメントが行われ、日本チームは決勝でアメリカに惜しくも敗れ、準優勝だった。